

2019 改訂版

中津市水道ビジョン

～ なかつの山を育て、水を守り、未来の子供たちへつなく～

平成31年3月

中津市

改訂にあたって

本市の水道事業は、昭和3年に山国川を水源として、宮永浄水場から給水を開始しました。その後、給水区域の拡張や経済活動の発展などによる水需要の増加に対応するため、5次にわたる拡張事業を行い、安全で安心な水の安定供給に努めてまいりました。

平成21年4月には「中津市水道ビジョン」を策定し、『なかつの山を育て、水を守り、未来の子供たちへつなぐ』という基本理念のもと、4つの施策目標と18の具体的な施策を示し、各施策に取り組んでいるところです。

しかしながら、策定から10年が経過し水道事業を取り巻く環境は大きく変化しており、本市においても老朽施設の更新需要の増大や人口減少等に伴う水道料金収入の減少など、経営状況は厳しくなると想定されます。また、東日本大震災を教訓とした基幹施設の耐震化など危機管理の対策を講じることが必要です。

このような現状を踏まえ、将来にわたり市民の皆様へ安全で安心な水道水を安定的に供給し、健全な水道事業を持続するために、より効率的な事業運営を行うとともに水道施設の更新や統廃合の検討を進め、次の世代に向けた持続可能な水道システムの確立を図っていかねばなりません。これらの諸課題に対応ができるよう、現行の「中津市水道ビジョン」の改訂を行いました。

今後は、新たな水道ビジョンの三つの施策目標である「安全」、「強靱」、「持続」の実現に向け、水道の基盤強化を図り、水道水の安定供給に努め、市民の皆様にご満足いただけるようサービス向上にむけ、職員一丸となり取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成31年3月

中津市水道事業

中津市長

おくづか まさのり
奥塚 正典

